

平成 28 年度地域医療介護総合確保基金事業

平成 28 年度認知症カフェセミナー開催要綱

「認知症カフェとは何か？」

認知症を抱えても、地域で尊厳をもって生活できるようにするために、私達、介護に携わるものとして、何ができるのでしょうか。

このセミナーで、認知症カフェの実施事例を紹介して頂き、新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）に位置づけられた認知症カフェとは何かを知りましょう。

さらに、介護の専門職として認知症ケアについて改めて考えるきっかけをつくりましょう。



長太の寄合所「くじら」（鈴鹿市）  
D-カフェ風景

10：00～10：05 開会のあいさつ  
 10：05～11：15 講義「認知症カフェが問うものとは」  
 11：20～12：10 認知症カフェ実践報告  
 12：10～13：00 昼休（昼食をご持参下さい。会場使用可です。）  
 13：00～14：20 グループワーク  
 「認知症カフェでは何が出来るか  
 何ができないか」  
 14：30～15：50 パネルディスカッション  
 「認知症カフェへの期待と課題」  
 15：50～16：00 総括・閉会の辞

実施主体 一般社団法人三重県介護福祉士会  
 日時 平成 29 年 3 月 16 日（木）  
 10：00～16：00（受付：9：30～）  
 場所 三重県社会福祉会館 3 階 講堂  
 講師 北 正美 氏（GH北さんち等総合施設長）  
 対象 施設関係者、その他認知症ケアに関心のある方  
 定員 100 名（定員になり次第締め切ります。）  
 参加費 無料  
 締切日 平成 29 年 3 月 10 日（金）  
 申込方法 FAX または郵送にてお申し込みください。  
 （受講券は、発行いたしません。）

申込・問合せ先

一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局

〒514-0003 三重県津市桜橋 2-131 三重県社会福祉会館内

TEL：059-264-7741 FAX：059-264-7742



きりとり

平成28年度 認知症カフェセミナー(3月16日) 参加申込用紙(送り状不要)

ふりがな お名前	会員番号 / 非会員		
ご住所	〒		
お電話番号	施設の方は 施設名と職種		

## 認知症カフェ実践報告者紹介

### グループホームころこ（松阪市）

☆報告者のプロフィール  
氏名：西村雄成（おさな）  
職名：ホーム長  
資格：認知症ケア専門士、介護支援専門員、介護福祉士  
介護歴：10年6ヶ月



☆事業所とカフェの紹介  
グループホームころこは平成16年4月1日に開設し、松阪市八重田町の田園に囲まれた自然豊かな場所にあります。理念の「その人らしい生き方を尊重し生活の援助を行う」に基づいて手厚い介護をしています。認知症カフェは平成28年11月より毎月第1土曜日に開催しています。認知症にかかわらず、自宅で介護されている方、これから介護をされる方も気軽に参加してもらっています。参加費は無料で、催し物なども開催しております。

### グループホームしあわせ（尾鷲市）

☆報告者プロフィール  
氏名：倉本 たえ  
職名：施設長  
資格：介護福祉士（会員）、介護支援専門員（会員）、社会福祉士（会員）、認知症ケア専門士（会員）



経歴 H5年～H14年 社会福祉法人勤務  
H15年～H16年他有限会社勤務  
H16年 「有限会社しあわせ」創立 訪問介護  
H19年 「グループホームしあわせ」開設  
現在に至る

☆事業所とカフェの紹介  
「グループホームしあわせ」は、尾鷲市の最南の小さな漁港にあります。ホールの目の前には海が広がり、横は花壇に囲まれた恵まれた環境で、利用者さんは穏やかに生活しておられます。新鮮な魚が食べられるのが自慢です。この町の住民の方々は皆親切で協力的です。その為認知症カフェを開催するに当たり、スムーズに事が運んだのが実状です。只、計画は綿密に時間をかけて行いました。当日の参加者の多くは「今後も継続して行ってほしい」との意見でした。

### 特定非営利活動法人

#### Heart to Heart 三重支部（松阪市）

☆報告者プロフィール  
氏名：白井ひとみ・・・一人娘として、実父（脳血管性認知症）を3年前に看取り、現在施設入所中の実母（アルツハイマー病）を介護中。電話相談員でもあり、HEART TO HEARTの家族相談員として、認知症カフェの運営に携わっています。



☆事業所とカフェの紹介  
スタッフ全員が認知症の家族を介護した経験者です。自らの介護経験をもとに相談員としてのさまざまな研修を重ね、三重県から「三重県認知症コールセンター」の委託を受け、活動しています。3年前より、松阪市内で民間アパートの1室を利用して、認知症の人と介護家族支援、地域住民への認知症の啓発を目指し、ゆっくりできる、楽しめる居場所として「認知症縁りあいカフェ茶話・支輪」を開催しています。

### いなべ市社会福祉協議会（いなべ市）

☆報告者プロフィール  
氏名：稲葉 淑乃  
（いなべ市社協・介護支援課長）



☆いなべ市ではいなべ市地域包括支援センター主催のもと、いなべ市社会福祉協議会が「おれん家“カフェ”」を運営しています。平成28年度は年5回開催し、内容はスリーA（明るく、頭を使って、あきらめない）方式の認知症予防プログラムをはじめ、音楽レク、もちつき、健康体操などアクティブプログラム満載です。介護者相談も行っています。認知症のひとは送迎も実施しているので、毎回約20～40名の参加者でにぎわっています。ぜひお立ち寄りください。

### （有）ふるさと ふるさとの里（桑名市）

☆報告者プロフィール  
氏名：西村大輔  
役職：副施設長・職業：看護師  
☆事業所とカフェの紹介  
私たち（有）ふるさとは2000年より介護保険事業を行っています。認知症カフェを行っている



「ふるさとカフェわか菜」は、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護と3つの事業所と併設している喫茶店です。

普段は近所の方や利用者が気軽に利用していただいております、週一回火曜日又は水曜日に健康ケア教室やサロンを開催し、いつでもどなたでも利用していただける認知症カフェになっています。



### 【講演：認知症カフェが問うものとは】

講師：北 正美 氏  
（有限会社ホワイト介護 GH 北さんち等総合施設長）  
社会福祉士・介護支援専門員



#### 【講演要旨】

認知症カフェの歴史、諸外国の認知症カフェ事情、我が国の認知症カフェ事情、我が国の国家戦略としての認知症カフェの問題点などを瞥見し、認知症カフェの多様なあり方を模索する。認知症カフェは地域力を育み、「互助」の在り方を見直すチャンスとなりうるか。カフェの運営に当たっては、地域によって特色が出る面があるが、一定の水準が期待されるかを問いかける。認知症カフェでは認知症に関する知識のみならず、企画力、相談援助技術力や雑談力なども問われる面もある。認知症カフェの多様性が容認される中で、何ができないか問いかけていく。